

研究情報公開文書（オプトアウト）

Tada スコアに基づく acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion (AESD) 高リスク症例対応プロトコール導入前後における AESD 発症および短期転帰の検討

沖縄県立南部医療センター・こども医療センターでは、下記の研究を実施しています。本研究は、通常診療の過程で得られた情報を用いて行う観察研究であり、研究のための追加採血、追加画像検査、追加処置は行いません。

1. 研究の目的

発熱時のけいれん重積後に発症しうる acute encephalopathy with biphasic seizures and late reduced diffusion (AESD) は、重い後遺症を残しうる急性脳症です。当院では、Tada スコアを用いた AESD 高リスク症例対応プロトコールを運用しています。本研究は、その導入前後で AESD の発症や短期転帰に変化があったかを検討し、今後の診療の改善に役立てることを目的としています。

2. 研究の対象

当院に入院した、発熱を伴うけいれん重積または AESD 疑いの小児患者さんが対象です。対象期間は、プロトコール導入前 5 年間および導入開始後 5 年間です。

3. 研究で用いる情報

診療録、看護記録、検査データ（血液、髄液、脳波）、画像データ（MRI、ASL など）、小児集中治療室記録、退院時要約などを用います。研究のために新たな検体採取や検査を行うことはありません。

4. 個人情報の保護

研究に用いる情報は研究用 ID を付けて管理し、氏名や患者 ID など、個人を直接特定できる情報を除いて解析します。対応表は厳重に管理し、研究責任者と許可された研究分担者のみが取り扱います。学会発表や論文発表の際にも、個人が特定されることはありません。

5. 研究への参加を希望されない場合

この研究に、お子さんの診療情報を使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。お申し出があった場合は、その後の研究解析の対象から除外します。ただし、すでに解析が終了している場合や、結果が公表された後は対応できないことがあります。

6. 研究の実施体制

研究責任者：松岡剛司（小児神経科・こころ科）

研究分担者：藤原直樹（小児集中治療科）、松岡孝（小児総合診療科）、田港希和（小児神経科・こころ科）

7. 問い合わせ先

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター Tel 098-888-0123

小児神経科・こころ科 松岡剛司

※本研究は、世界医師会ヘルシンキ宣言および生命・医学系指針に基づいて実施します。